

第134期

中間報告書

(平成28年10月1日から)  
(平成29年3月31日まで)

ホウライ株式会社

— 会 社 の 概 要 —

設 立	昭和3年1月16日
資 本 金	43億4,055万円
本 店	東京都中央区銀座六丁目14番5号
従 業 員 数	162名 (平成29年3月31日現在)

平成29年6月

## 株主の皆様へ

代表取締役社長 谷澤 文彦

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は平成29年3月31日をもって第134期第2四半期の決算を行いましたので、その概況をご報告申し上げます。

## 営業の概況

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和策を背景に、雇用・所得環境は改善が続き、企業収益も足踏みから改善の動きが出てくる等、景気は総じて緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、中国を始めアジア新興国の景気下振れリスクや、米国の新政権による政治・経済政策の動向、金融政策正常化の影響等、先行き不透明な状況が続きました。

このような状況下、当社は各事業がそれぞれの特性に応じた施策の推進に努めましたが、各事業ともに営業収益、営業総利益は、前年同期を下回りました。一般管理費は、システム更改に伴う経費増を主因に前期を上回り、営業利益は前年同期比減益となりました。

当第2四半期累計期間の経営成績は、営業収益が2,418百万円（前年同期比111百万円減）、営業総利益は308百万円（前年同期比90百万円減）、一般管理費は296百万円（前年同期比6百万円増）となり、営業利益は12百万円（前年同期比97百万円減）となりました。営業外収益にゴルフ会員権消却益104百万円（前年同期比4百万円増）を計上したことを主因に、経常利益は109百万円（前年同期比97百万円減）となり、四半期純利益は128百万円（前年同期比18百万円減）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。なお、前第3四半期会計期間より報告セグメント区分を変更しており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

### ①保険事業

お客様の多様化するニーズに対応した商品提案を行うとともに、リスクコンサルティング営業に努めました。損害保険分野は、多種目化や新たなマーケット開拓に努めましたが前年同期に大口火災保険を長期で更改した反動減をカバーするには至りませんでした。生命保険分野は、法人、個人ともに新規契約が伸び悩みました。この結果トータルの営業収益は524百万円（前年同期比34百万円減）となりました。営業原価は、営業推進体制強化のため人件費は増加しましたが、DM費用の見直し

等各種費用圧縮に努め、経費全体では前年同期並みとなり、営業総利益は177百万円（前年同期比33百万円減）となりました。

#### ②不動産事業

前期大口テナントが退出したさくら堀留ビルの後継テナントの入居が完了し、賃貸ビル全体でも高い入居率を維持しておりますが、テナント入替えに伴う賃料水準の低下に加え、新宿ホウライビルで一部賃料改定により賃貸収入が減少したことから、営業収益は773百万円（前年同期比69百万円減）となりました。営業原価は、前年同期の池袋室町ビルの大口修繕工事がなくなったことによる修繕費の減少や、新宿ビルの一括賃借料の減少等により前年同期を下回り、営業総利益は286百万円（前年同期比51百万円減）となりました。

#### ③千本松牧場

各種企画やイベントの開催に加え、冬場人気のいちご園を再開しました。また、旅行会社・近隣観光施設との連携強化や各種メディアを通じた広告宣伝を活発化させ、集客に努めました。しかしながら、秋口以降年明けにかけて天候に恵まれず、春の訪れとともにやや持ち直しの兆しがでてきたものの、来場者数は前年同期に届かず、食堂・売店の減収を主因に、直販サービス部門の売上は前年同期を下回りました。子牛販売が増加した酪農部門は、前年同期を上回りましたが、部門全体では営業収益は828百万円（前年同期比6百万円減）となりました。営業原価は、配送ルート見直しによる運賃の圧縮等経費節減を主因に前年同期を下回り、営業総損失は66百万円（前年同期比0百万円の悪化）となりました。

#### ④ゴルフ事業

魅力を高める工夫に努めた平日コンペ企画、各種競技会・大会の誘致と開催、ホウライ・西那須野両コースを舞台として、2年目となる長寿ゴルフレッスン番組シリーズを秋にテレビ放映したのに続き、年明けからは、クラブチャンピオンがプロにマッチプレーを挑む人気番組を4週に亘り放映する等メディアを活用した来場者誘致に努めました。しかしながら、豪雨による競技会の一部中止や季節外れの雪によるクロウズの影響もあり、来場者数は前年同期を若干下回りました。結果、営業収益はプレー収入の減少を主因に291百万円（前年同期比1百万円減）となりました。営業原価は、営業・接客強化のための体制整備により人件費は増加し、各種経費の圧縮により一部カバーしましたが、営業原価合計は前年同期を上回り、営業総損失は88百万円（前年同期比5百万円の悪化）となりました。

## 事業別営業収益

(百万円未満切捨)

事業	期 別		前第2四半期累計期間 (平成27.10.1～ 平成28.3.31)		当第2四半期累計期間 (平成28.10.1～ 平成29.3.31)		増 減		前事業年度 (平成27.10.1～ 平成28.9.30)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	金額	金額	構成比		
	百万円	%	百万円	%	百万円	百万円	百万円	%		
保 険 事 業	559	22.1	524	21.7	△ 34	1,023	19.3			
不 動 産 事 業	842	33.3	773	32.0	△ 69	1,585	30.0			
千 本 松 牧 場	835	33.0	828	34.3	△ 6	1,940	36.6			
ゴ ル フ 事 業	292	11.6	291	12.0	△ 1	747	14.1			
合 計	2,529	100.0	2,418	100.0	△ 111	5,297	100.0			

(注) 品目及び数量については、種類が多く、その表示が困難なため記載は省略いたしました。

なお、平成28年4月より千本松地区事業の経営体制を見直したことに伴い、従来の乳業事業と観光事業を統合し、千本松牧場といたしました。前第2四半期累計期間の事業別営業収益は、変更後の事業区分で記載しております。

## 営業成績及び財産の状況の推移

(百万円未満切捨)

区 分	期 別		前第2四半期累計期間 (平成27.10.1～ 平成28.3.31)		当第2四半期累計期間 (平成28.10.1～ 平成29.3.31)		増 減		前事業年度 (平成27.10.1～ 平成28.9.30)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	金額	金額	構成比		
営業収益 (百万円)	2,529		2,418		△ 111	5,297				
経常利益 (百万円)	207		109		△ 97	467				
四半期(当期)純利益 (百万円)	147		128		△ 18	342				
1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)	105.42		92.13		△ 13.29	245.42				
総資産 (百万円)	18,965		18,270		△ 695	18,338				
純資産 (百万円)	6,796		7,068		272	6,986				

(注) 1株当たり四半期(当期)純利益は、平均発行済株式総数により算出しております。なお、平成29年4月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合をしております。1株あたり四半期(当期)純利益につきましては、前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して算定しております。

# 四半期貸借対照表

(平成29年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>(資産の部)</b>		<b>(負債の部)</b>	
<b>【流動資産】</b>	<b>【 3,928,472】</b>	<b>【流動負債】</b>	<b>【 939,499】</b>
現金及び預金	3,323,391	買掛金	80,258
受取手形及び売掛金	323,493	一年内償還予定の社債	98,000
たな卸資産	189,351	未払法人税等	25,200
その他	93,639	引当金	43,738
貸倒引当金	△ 1,404	その他	692,302
<b>【固定資産】</b>	<b>【 14,341,749】</b>	<b>【固定負債】</b>	<b>【 10,262,331】</b>
<b>(有形固定資産)</b>	<b>( 12,626,357)</b>	社債	1,112,000
建物	3,075,466	長期預り保証金	8,753,224
土地	7,056,555	引当金	146,437
その他	2,494,335	資産除去債務	41,721
<b>(無形固定資産)</b>	<b>( 74,385)</b>	その他	208,948
<b>(投資その他の資産)</b>	<b>( 1,641,007)</b>	<b>負債の部合計</b>	<b>11,201,831</b>
その他	1,664,007	<b>(純資産の部)</b>	
貸倒引当金	△ 23,000	<b>【株主資本】</b>	<b>【 6,993,246】</b>
		資本金	4,340,550
		資本剰余金	527,052
		利益剰余金	2,142,638
		自己株式	△ 16,994
		<b>【評価・換算差額等】</b>	<b>【 75,143】</b>
		その他有価証券評価差額金	75,143
		<b>純資産の部合計</b>	<b>7,068,390</b>
<b>資産の部合計</b>	<b>18,270,221</b>	<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>18,270,221</b>

(注) 記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

# 四半期損益計算書

(自 平成28年10月1日)  
(至 平成29年3月31日)

(単位：千円)

科 目	金 額
(経常損益の部)	
【営業損益の部】	
営 業 収 益	2,418,278
営 業 費 用	
営 業 原 価	2,109,641
一 般 管 理 費	296,076
<b>営 業 利 益</b>	<b>12,560</b>
【営業外損益の部】	
営 業 外 収 益	116,179
営 業 外 費 用	19,221
<b>経 常 利 益</b>	<b>109,518</b>
(特別損益の部)	
特 別 利 益	9,400
特 別 損 失	26,810
<b>税 引 前 四 半 期 純 利 益</b>	<b>92,108</b>
法人税、住民税及び事業税	11,333
法人税等調整額	△ 47,934
<b>四 半 期 純 利 益</b>	<b>128,709</b>

(注) 記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

# 株 式 の 状 況

(平成29年3月31日現在)

- (1) 発行可能株式総数 37,200,000株  
(2) 発行済株式の総数 14,040,000株  
(3) 当中間期末株主数 1,129名 (前期末比19名減)  
(4) 大株主 (上位10名)

株 主 名	持 株 数	持株比率
室町ビルサービス株式会社	1,781 千株	12.68 %
室 町 殖 産 株 式 会 社	991	7.05
株 式 会 社 帝 国 倉 庫	701	4.99
株 式 会 社 ケ イ エ ム コ ー ポ	700	4.98
株 式 会 社 三 井 住 友 銀 行	694	4.94
ホ ウ ラ イ 従 業 員 持 株 会	517	3.68
三井住友海上火災保険株式会社	360	2.56
日 本 生 命 保 険 相 互 会 社	300	2.13
三 井 松 島 産 業 株 式 会 社	300	2.13
大 室 幸 之 助	286	2.03

- (注) 1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。  
2. 持株比率は小数点第3位を切り捨てて表示しております。



# 取締役及び監査役

(平成29年3月31日現在)

代表取締役社長	谷澤文彦
常務取締役	三輪高嗣
常務取締役	泰地伸宏
常務取締役	林周毅
常務取締役	森禄弘
取締役	増田雄一
取締役	吉田卓信
取締役	萩尾哲也
社外取締役	柴田征範
常勤監査役	千葉正裕
社外監査役	渡辺知行
社外監査役	藤川隆夫

## 株式事務の取扱について

事業年度	毎年10月1日から翌年9月30日まで
定時株主総会	毎年12月開催
基準日	定時株主総会 毎年9月30日 期末配当 毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 ----- (郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 (電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
・住所変更、配当金受取方法の指定、単元未満株式の買取等のお申出先について ----- 株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。 なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の 口座管理機関である三井住友信託銀行へお申し出ください。	
・未払配当金の支払について ----- 株主名簿管理人である三井住友信託銀行へお申し出ください。	



